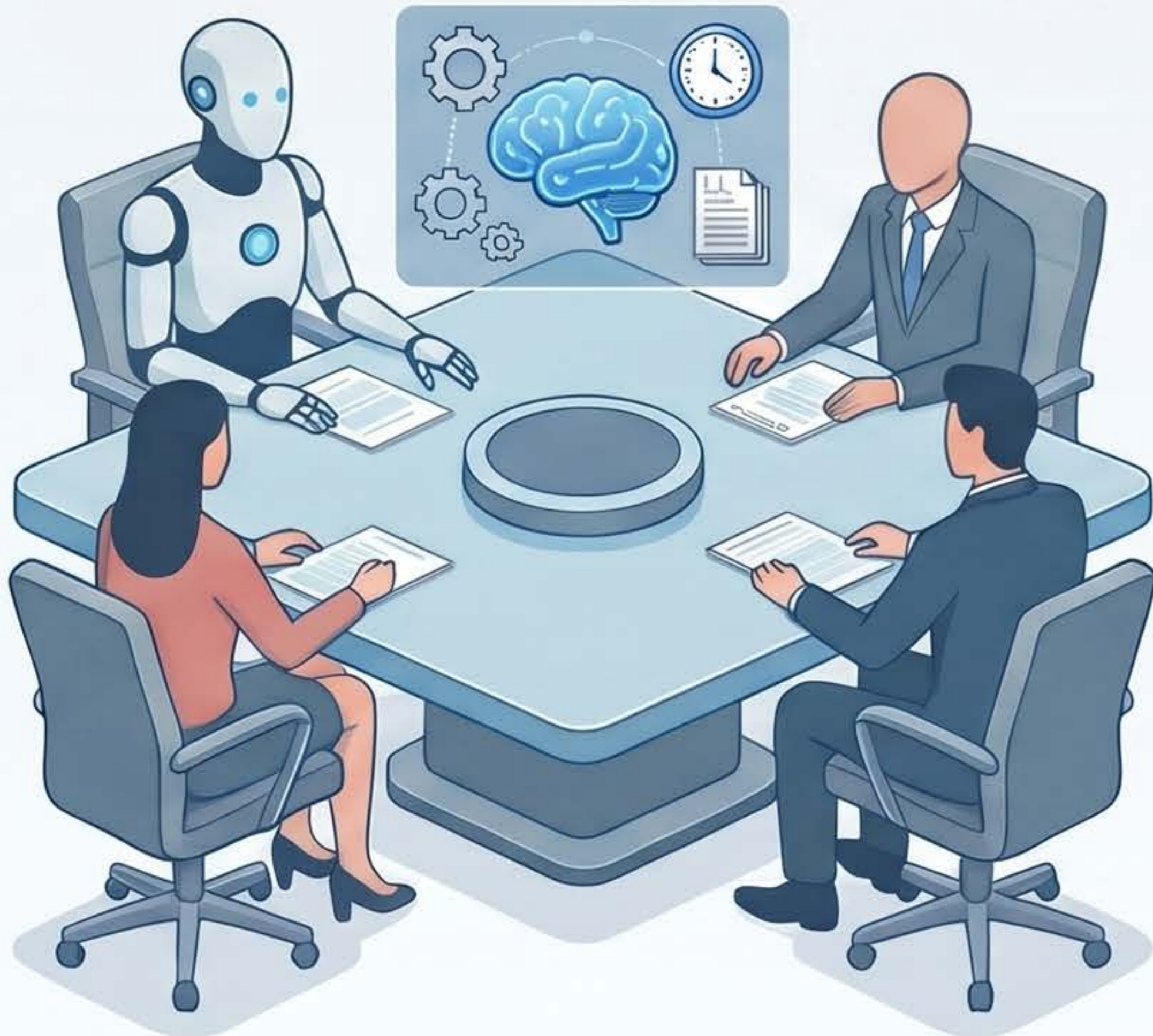


# Sakana Marlin : 自律型リサーチAIの知財実務への活用ガイド



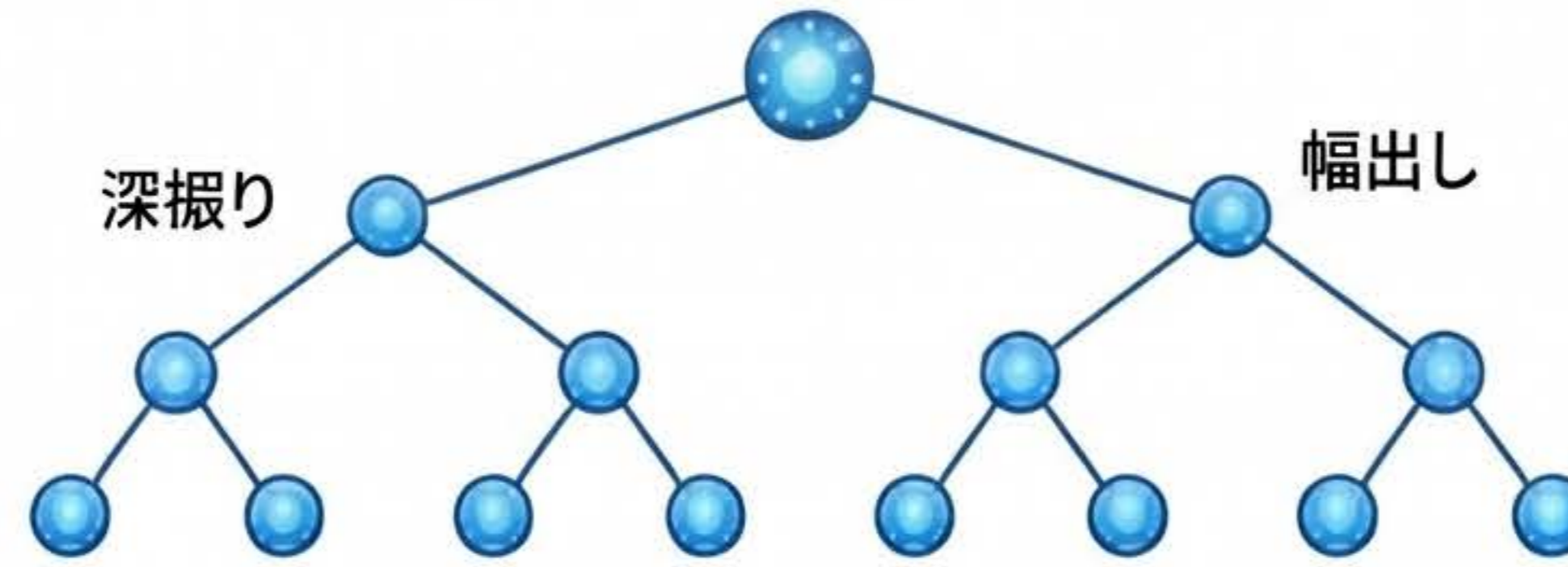
## 「Virtual CSO (仮想最高戦略責任者)」としての位置づけ

単なる検索ツールではなく、迅速な戦略調査を数時間に圧縮し、経営層の意思決定を支援する仮想的な戦略責任者として機能します。

## 最大8時間の自律探索と詳細レポート

人間の介入なしに最大の8時間の調査を実行し、A4換算で最大100ページの詳細レポートとサマリースライドを自動生成します。

## 独自の探索アルゴリズム「AB-MCTS」



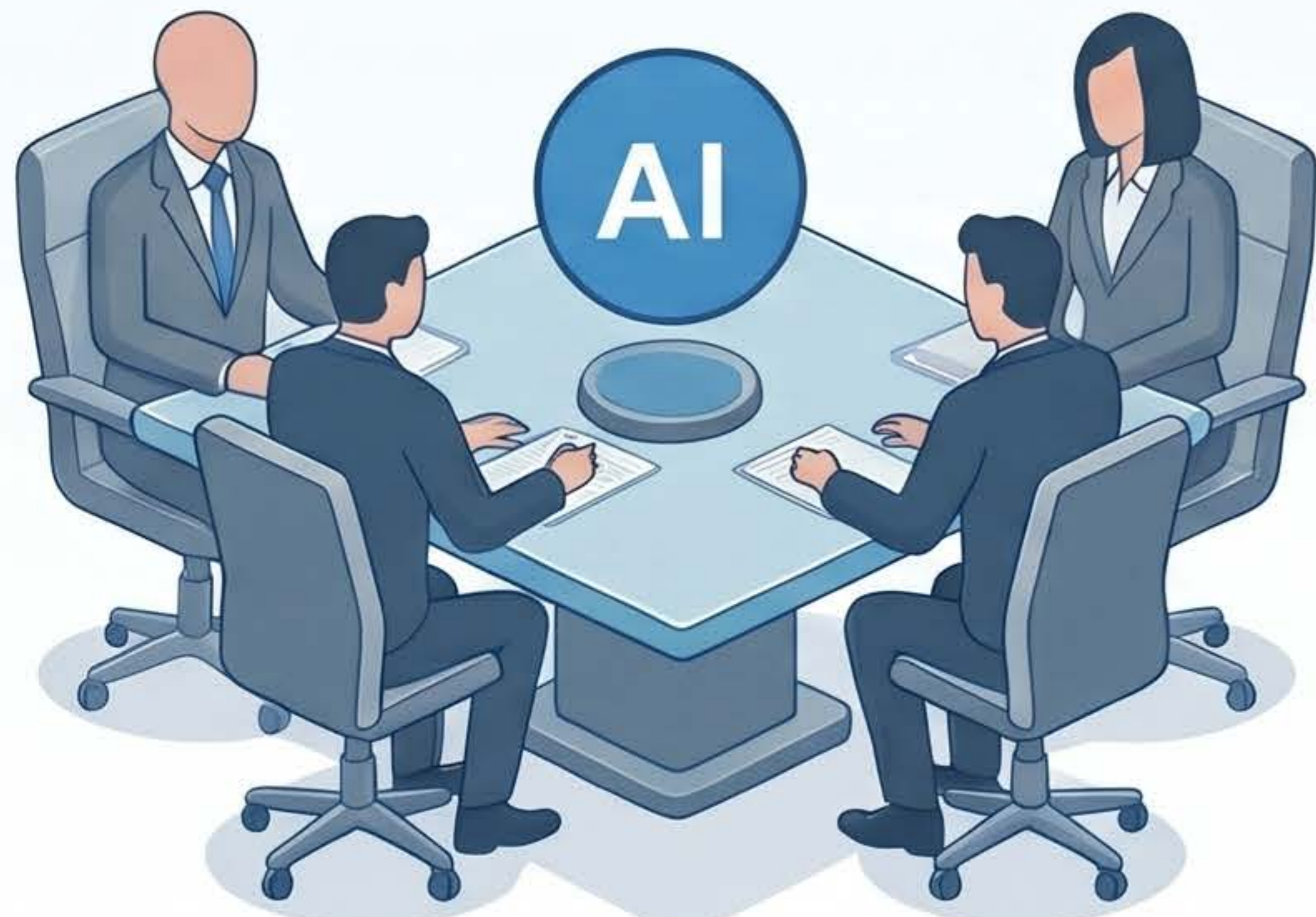
思考を木提案として捉え、「深掘り」と「幅出し」を動的に判断する独自のアルゴリズムにより、従来のLLM単体を認える高い議論能力を発揮します。

## 料金体系

1回の職業で100クレジットを消費

プラン	月額料金	付与クレジット	追加料価
Pay per use	無料	0	¥98 / 個
Pro	¥150,000	2,000 / 月	¥90 / 個
Team	¥400,000	6,000 / 月	¥85 / 個
Enterprise	個別見積	カスタマイズ	—

従量課金または月額プランを選択可能で、日本のインボイス制度にも対応しています。



## IPランドスケープ・競合分析:【非常に有望】



競合の事業戦略、技術ロードマップ、規制動向の構造化に強みを持ち、如謝部門が掌理部門へ提案する際の「未来予測」に最適です。



## 先行技術・無効資料調査:【補助的利用】



特許DBへの遡及権がないため網羅性に欠けますが、非特許文献(論文・ブログ等)を捜索する初関スクリーニングには有効です。



## FTO (侵害予防) 調査:【不適】



クレーム解釈や権利範囲の法的判断、最新の権利存続状況の確認ができないため、代替にはなりません。



## セキュリティと信頼性



学習への利用は「オプトイン制」

明示的な同意がない限り、入力データがAIの学習に利用されることはありませんが、外庫プロバイタの利用には注意が必要です。

人間によるエビデンス確認が必須

過去に性獣の過大評価で誤判した筋例もあり、出力された60~80件の参照ソースに誤差がないか、遡助+鑑査判断の前には必ず入力が検証すべきです。

## 推奨される導入ロードマップ



フェーズ1: 低リスク検閲 (~3ヶ月)  
Pay per useプランで市場・技術トレンド調査に限定して試行し、出力の正確性のベースラインを満足します。

フェーズ2: ハイブリッド運用の確立  
Marlinを「文庫・戦略レイヤー」、Patentfield等の専用ツールを「特許定量・調査レイヤー」として併用分擔させます。